

フレンズ・バイブル・スタディー  
ローマ9章の黙想質問

ローマ 9:1-5

イスラエルに何が起こったのですか。

**ローマ 9:1-5** 1 私はキリストにあって真実を言い、偽りを言いません。次のことは、私の良心も、聖霊によってあかししています。2 私には大きな悲しみがあり、私の心には絶えず痛みがあります。3 もしできることなら、私の同胞、肉による同国人のために、この私がキリストから引き離されて、のろわれた者となることさえ願いたいのです。4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法を与えられることも、礼拝も、約束も彼らのものです。5 先祖たちも彼らのものです。またキリストも、人としては彼らから出られたのです。このキリストは万物の上にあり、とこしえにほめたたえられる神です。アーメン。

黙想質問：イスラエルはこれほど大きな祝福と素晴らしい約束を与えられていたにもかかわらず、なぜキリストを通して与えられる神の最大の祝福である義を受け取ることができなかったのだと思いますか。

ローマ 9:6-9

真のイスラエルの子孫とは誰でしょうか。

**ローマ 9:6-9** しかし、神のみことばが無効になったわけではありません。なぜなら、イスラエルから出る者がみな、イスラエルなのではなく、7 アブラハムから出たからといって、すべてが子どもなのではなく、「イサクから出る者があなたの子孫と呼ばれる。」のだからです。8 すなわち、肉の子どもがそのまま神の子どもではなく、約束の子どもが子孫とみなされるのです。9 約束のみことばはこうです。「私は来年の今ごろ来ます。そして、サラは男の子を産みま

す。」  
黙想質問：アブラハムの真の子孫とは誰でしょうか。以下の聖句や、以下の箇所を含む他の聖句を参照して、その理由を説明してください。 ヨハネ 1:12-13, ヨハネ 3:8-10, ローマ 2:28-29, ローマ 8:14, 1 ヨハネ 5:1.

## ローマ 9:10-15

神様は、不当で不公平なのでしょうか。

**ローマ 9:10-15** 10 このことだけでなく、私たちの先祖イサクひとりによってみごもったりベカのこともあります。11 その子どもたちは、まだ生まれてもおらず、善も悪も行なわないうちに、神の選びの計画の確かさが、行ないにはよらず、召してくださる方によるようにと、12 「兄は弟に仕える。」と彼女に告げられたのです。13 「わたしはヤコブを愛し、エサウを憎んだ。」と書いてあるとおりです。

14 それでは、どういうことになりますか。神に不正があるのですか。絶対にそんなことはありません。15 神はモーセに、「わたしは自分のあわれむ者をあわれみ、自分のいつくしむ者をいつくしむ。」と言われました。（出エジプト 33:19）

黙想質問：神がエサウではなくヤコブを選ばれたのは、なぜ不正でも不公平でもなかったのでしょうか。その理由を説明してください。

## ローマ 9:16-21

あなたが、神に口答えするとはどういうことですか。

**ローマ 9:16-18** 16 したがって、事は人間の願いや努力によるのではなく、あわれんでくださる神によるのです。17 聖書はパロに、わたしがあなたを立てたのは、あなたにおいてわたしの力を示し、わたしの名を全世界に告げ知らせるためである。」と言っています。18 こういうわけで、神は、人をみこころのままにあわれみ、またみこころのままにかたくなにされるのです。

黙想質問：パロを通して、神の力と栄光は世界にどのように示されたのでしょうか。パロは神の憐れみに値する人物だったのでしょうか。私たちはどうでしょうか。それぞれの答えについて説明してください。

**ローマ 9:19-21** すると、あなたはこう言うでしょう。「それなのになぜ、神は人を責められるのですか。だれが神のご計画に逆らうことができましょう。」20 しかし、人よ。神に言い逆らうあなたは、いったい何ですか。形造られた者が形造った者に対して、「あなたはなぜ、私をこのようなものにしたのですか。」と言えるのでしょうか。21 陶器を作る者は、同じ土のかたまりから、尊いことに用いる器でも、また、つまらないことに用いる器でも作る権利を持っていないのでしょうか。

黙想質問：なぜ私たちは、神を非難したり、神が私たちをこのような姿に造られたのかと問いただしたりする立場にないのでしょうか。

神の栄光の豊かさと神の愛の深さ

黙想質問：「神の怒りの器」と「神の憐れみの器」とは、いったい誰のことでしょうか。神は、ご自身の栄光の豊かさを、どのようにして私たちに知らせてくださったのでしょうか。

ローマ 9:22-24 22 ですが、もし神が、怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられるのに、その滅ぼされるべき怒りの器を、豊かな寛容をもって忍耐してくださったとしたら、どうでしょうか。23 それも、神が栄光のためにあらかじめ用意しておられたあわれみの器に対して、その豊かな栄光を知らせてくださるためになのです。24 神は、このあわれみの器として、私たちを、ユダヤ人の中からだけでなく、異邦人の中からも召してくださったのです。

黙想質問：25 節から 29 節に基づき、イスラエルの民と異邦人に対する神の御心を説明してください。

25 それは、ホセアの書でも言っておられるとおりです。

「わたしは、わが民でない者をわが民と呼び、  
愛さなかった者を愛する者と呼ぶ。

(ホセア書 2章 23節より引用)

26 『あなたがたは、わたしの民ではない。』と、  
わたしが言ったその場所で、彼らは、  
生ける神の子どもと呼ばれる。」

(ホセア書 1章 10節より引用)

27 また、イスラエルについては、イザヤがこう叫んでいます。

「たといイスラエルの子どもたちの数は、  
海べの砂のようであっても、  
救われるのは、残された者である。

28 主は、みことばを完全に、しかも敏速に、  
地上に成し遂げられる。」

29 また、イザヤがこう預言したとおりです。

「もし万軍の主が、私たちに  
子孫を残されなかったら、  
私たちはソドムのようになり、  
ゴモラと同じものとされたであろう。」

ローマ 9:30-33  
イエスはつまずきの石です

30 では、どういうことになりますか。義を追い求めなかった異邦人は義を得ました。すなわち、信仰による義です。31 しかし、イスラエルは、義の律法を追い求めながら、その律法に到達しませんでした。32 なぜでしょうか。信仰によって追い求めることをしないで、行ないによるかのように追い求めたからです。彼らは、つまずきの石につまずいたのです。33 それは、こう書かれているとおりです。

「見よ。わたしは、シオンに、つまずきの石、妨げの岩を置く。  
彼に信頼する者は、失望させられることがない。」

黙想質問：なぜイスラエルは、信仰による義を追い求めず、義の律法を追い求めたのでしょうか。

黙想質問：なぜ彼らは、つまずきの石であるイエスにつまずいたのでしょうか。